

特別座談会

つづき

都筑の歩み、未来へ続く。

来年11月 区制25周年

都筑区が来年11月に区制施行25周年を迎えるにあたり、本紙では都筑区の礎を築いてきた関係者に、区誕生までのエピソードやまっすぐにへの思いを語ってもらった。区発足時は11万人だった人口は、現在は約21万人になり新旧住民が融合し生活している。当時の活動を知る町内会自治会や医師会、企業、商店会、市民団体の代表者が「区制25周年特別座談会」を先月開催した。

(文中敬称略)

司会 都筑区商店街連合会・栗林 一夫会長



長谷川 秀男さん
(第二代都筑区連合町内会自治会 会長)

町を中心にして農業専用地区をニュータウンの南側に約230ha整備しています。この農専を作ったことで、今でも農業が盛んな区の特長があらわれます。

「頑張りなといけない」

第三京浜道路都筑区医師会が発足した1995年に都筑区医師会が発足し、区医師会が定例会長に中野さんが就かれました。分区分けの話し合いなどについてお聞きください。



港北ニュータウン造成当時の区役所屋上から望むセンター北方面



中野 雄二さん
(初代都筑区医師会 会長)

「画期的な区制25周年」

港北ニュータウン街づくり協議会の元会長と横浜北農協の元組合長などを務め、都筑区の発展に寄与されてきました。当時のお話を聞かされた。

飯田 農協の仕事をする商店街の「も」になる会です。



畑澤 健一さん
(前都筑区長)

「先人の思い」

次は栗林からニュータウン開発途中の商店街の成り立ちについて話したいと思います。

栗林 現在は都筑バスターミナルの南側に、一ツ井の商店街を含め、全部で10団体の商店街連合会に所属しています。都筑区が誕生する前は、6団体の商店街連合会に所属していた。1990年に青木さんが初代会長に、港北NT中央商業振興会が設立された。



栗林 一夫さん
(都筑区商店街連合会 会長)

「先人の思い」

次は栗林からニュータウン開発途中の商店街の成り立ちについて話したいと思います。

栗林 現在は都筑バスターミナルの南側に、一ツ井の商店街を含め、全部で10団体の商店街連合会に所属しています。都筑区が誕生する前は、6団体の商店街連合会に所属していた。1990年に青木さんが初代会長に、港北NT中央商業振興会が設立された。



山田 美千子さん
(都筑クラブ 会長)

「夜、星が見えるのは財産」

村田会長、当時の活動と印象に残っている話を伺います。

村田 長谷川さんの後任として体育指導委員(現・スポーツ推進委員)で、港北二ツ井の建設事業が発表された。工場用地やニュータウンの空き地を利用して、子どもにフットボールを教えました。長谷川さんには色々と教えた。区民まつりも今年で24回を迎えますが、3回目までは東方公園で開催していました。当時の高秀秀信横浜市長がハイレディビッドソン・ハイウェイに乗って登場したのも良い思い出です。

畑澤 高秀市長が書かれた「都筑区」とい



都筑区25周年記念写真

参加者 Profile

飯田 恒雄さん

・元 D区の新しい街づくりを進める会(※1)理事

・元 港北ニュータウン街づくり協議会 会長

山田 美千子さん

・元 港北ニュータウンイベント倶楽部(※2)会長

・都筑クラブ 会長

村田 輝雄さん

・都筑区連合町内会自治会 会長

栗林 一夫さん

・元 D区の新しい街づくりを進める会 事務局長

・都筑区商店街連合会 会長

青木 寛久さん

・元 D区の新しい街づくりを進める会 理事

・都筑区懇話会 会長

中野 雄二さん

・元 D区の新しい街づくりを進める会 理事

・初代 都筑区医師会 会長

畑澤 健一さん

・前都筑区長

長谷川 秀男さん

・元 D区の新しい街づくりを進める会 副会長

・第二代都筑区連合町内会自治会 会長

飯田 恒雄さん

(元 港北ニュータウン街づくり協議会 会長)

(※1) D区の新しい街づくりを進める会・港北区・緑区の再編成にともない、町内会自治会を中心とした分区分会

(※2) 港北ニュータウンイベント倶楽部・区内の各種イベントをサポートする現・都筑クラブの母体にあたるボランティアグループ



村田 輝雄さん
(都筑区連合町内会自治会 会長)



都筑区民が集う「区民まつり」

都筑区歴史年表

～History of Tsuzuki～

約3万年前(旧石器時代)	北川貝塚東地点で石器が使われる	
約1万5000～1万2000年前(縄文時代)	花見山で縄文土器や石器が使われはじめる(花見山遺跡)	1939年(昭和14年)
約7000年前(縄文時代)	現都筑区内まで海が入り込む。多数の集落が形成され、貝塚が残される(折本貝塚、茅ヶ崎貝塚)	1965年(昭和40年)
約2100年前(弥生時代)	稲作がはじまる。大塚に環濠集落、歳勝土に方形周溝墓ができる(大塚・歳勝土遺跡)	1969年(昭和44年)
8世紀(奈良時代)	律令制度により「武蔵国都筑郡」となる。長者原(現・青葉区)に都筑郡家が置かれたと思われる(長者原遺跡)	1974年(昭和49年)
927年(平安時代)	延喜式に武蔵国都筑郡杉山神社が式内社として記される	
14～15世紀(室町時代)	茅ヶ崎城が築城される	1992年(平成4年)
18世紀(江戸時代)	大山参詣や富士参りが流行、大山道ににぎわい宿場ができる	
1871年(明治4年)	廃藩置県により「神奈川県」となる	
1878年(明治11年)	郡区町村編成法により、都筑郡ができる	
1879年(明治12年)	都筑郡役所が川井村(現・旭区)から川和の妙蓮寺に移転	
1889年(明治22年)	横浜に市制施行、併せて都田村、山内村、中川村などが誕生	1995年(平成7年)
		1996年(平成8年)

1997年(平成9年)	横浜市北部夜間急病センター開設
1998年(平成10年)	横浜国際プール完成、都筑区民の歌制定
1999年(平成11年)	都筑区の木制定「ヤマモミジ」等
2000年(平成12年)	都筑警察署開設
2001年(平成13年)	昭和大学横浜市北部病院開院
2002年(平成14年)	都筑大橋開通、都筑郵便局開局
2003年(平成15年)	鴨池大橋開通、都筑区福祉保健活動拠点(かけはし都筑)開設
2004年(平成16年)	都筑区制10周年、都筑区民活動センター開設
2005年(平成17年)	港北ニュータウン中央地区換地処分公告
2006年(平成18年)	みなぎわウォーク開通、都筑スポーツセンター開所、都筑区子育て支援センター「Popola」開設
2007年(平成19年)	都筑多文化・青少年交流プラザ(つづきMYプラザ)開設
2008年(平成20年)	市営地下鉄グリーンライン、中山～日吉開通
2009年(平成21年)	区のマスコットキャラクター「つづきあい」決定
2010年(平成22年)	都筑区の花制定「サクラソウ」、人口20万人到達
2011年(平成23年)	資源循環局都筑工場の煙突塗替
2012年(平成24年)	高速横浜環状北西線事業着手
2013年(平成25年)	横浜多機能型拠点「つづきの家」開所
2014年(平成26年)	都筑区制20周年
2017年(平成29年)	高速横浜環状北線開通

都筑区

つづき

Tsuzukiの「つ」をモチーフに、計画的に整備された街並みと緑道、そして早瀬川や鶴見川、せせらぎの豊かな水の恵みを真ん中に配置。さらに、区民が力をあわせ、未来に向かってますます発展していく都筑区を表現しています。

区制25周年に向けて、都筑区史『図説 都筑の歴史』ただいま編さん中!!

都筑区は、港北ニュータウンの造成により大きく発展してきましたが、約1万年前から人が住んでいた遺跡が存在するなど、実は古くからの歴史があります。現在、来年11月に迎える都筑区誕生25周年に向けて、都筑区初の試みとして、区の歴史をまとめた『図説 都筑の歴史』の編さんを行っています。

学生から大人まで、幅広い世代の方々に手に取っていただけるよう、資料や写真、地図などを用いた図説の形式で、都筑区の興味深い歴史を、総合的にまとめる予定です。



資料や原稿を上げて議論する編さん委員

編さんには、横浜市ふるさと歴史財団や郷土史の専門家、区民活動団体の方々など多くの方に関わっていただきながら、調査や執筆を行っています。調査の過程で発見された新たな事実なども盛り込んでいく予定です。で、来年11月の刊行を楽しみにしていただきたいと思います。今後は、広報よこはま都筑区版の編さん(次号は6月号予定)や『図説 都筑の歴史』刊行イベント等でも情報発信していきます。

歴史的な新発見!!

編さん委員会発足から2年、昨年12には都筑の歴史を紐解く新発見もありました。佐江戸町の無量寺にある石造物の調査＝写真＝では、新たに「宝塔」を発見し、これにより、元元がどのような経路で佐江戸まで伝わったかを知る手がかりとなる史実もわかりました。今後新発見があるのではと、期待が膨らみます。



村田輝雄委員長(前列・左から3人目)と編さん委員メンバー

区と地域が一体となって編さんに取り組むため、平成28年度より連合町内会長や区関係団体の代表等で開催される「図説 都筑の歴史」編さん委員会において検討を進めています。年に6回程度編さん委員会を開催し、「図説 都筑の歴史」の構成や編さんスケジュール、執筆内容等の検討を行っています。

横浜市歴史博物館X都筑区図書館X都筑区役所連携事業

「図説 都筑の歴史」刊行イベント開催告知

郷土史講演会「都筑の近代(仮)」

日時 平成30年 9月29日(土)10時～

講師 相澤 雅雄氏 (地域史研究家)

都筑図書館で郷土展示会を同時開催予定
申込は、広報よこはま都筑区版8月号で掲載予定

明治後期の川和の菊(松林園)